

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月27日

計画の名称	大分県における歴史的景観まちづくりと地域間連携の強化												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	日田市, 臼杵市, 竹田市, 杵築市, 宇佐市												
計画の目標	『大分県らしい街なみ・住環境整備を広域的に連携させ、合わせて観光振興や地域間の交流・連携を図ることにより、「住んでよし・来て楽しい」まちづくりを実現する。』												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,588	A	1,526	B	0	C	62	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	3.9	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H28末)	(H31末)
1	居住者と観光客の共存を図るための街なみ及び住環境整備による居住者の整備等に対する満足度 居住者の整備等に対する満足度(ポイント:5点=満足、4点=やや満足、3点=普通、2点=やや不満、1点を不満とし各地区の平均を算定) (街なみ・住環境満足度) = (個別回答満足度計×地区数) / (全地区アンケート回答数)	3ポイント	ポイント	4ポイント
2	大分県内における街なみ整備地区の活用率向上 大分県内の街なみ整備地区のイベント開催数を通じた街なみ活用率 (活用率) = (全地区の年間イベント回数の平均 / 従前の全地区年間イベント回数の平均) (%)	0%	%	15%
3	地区内の観光客・交流人口の自然減少の抑制 地区内の観光客・交流人口の自然減少の抑制 (観光客・交流人口数) = (最終年度の観光動態調査に基づく観光客・交流人口数を現況値と比較して維持させるものとする)	639715人	人	639715人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	日田市	直接	日田市	—	—	豆田地区街なみ環境整備 事業（1-A-1）	地区公共施設、道路美化、 案内板等、修景助成	日田市	■	■	■	■	■	118	-	—
	A16-002	住宅	一般	杵杵市	直接	杵杵市	—	—	白杵城下周辺地区街なみ 環境整備事業（1-A-2）	事業計画策定、地区防災施設 、地区施設整備、修景助成	杵杵市	■	■	■	■	■	100	-	—
	A16-003	住宅	一般	竹田市	直接	竹田市	—	—	竹田地区街なみ環境整備 事業（1-A-3）	修景助成、歴史的風致形成建 造物整備・助成、道路美化	竹田市	■	■	■	■	■	240	-	—
A16-004	住宅	一般	杵杵市	直接	杵杵市	—	—	杵杵地区街なみ環境整備 事業（1-A-4）	協議会助成、修景整備、修景 助成	杵杵市	■	■	■	■	■	146	-	—	
A16-005	住宅	一般	宇佐市	直接	宇佐市	—	—	宇佐地区街なみ環境整備 事業（1-A-5）	地区施設整備、道路美化、 電線地中化、修景助成、案内 板等	宇佐市				■	■	700	-	—	
A16-006	住宅	一般	竹田市	直接	竹田市	—	—	長湯地区街なみ環境整備 事業（1-A-6）	道路美化、街路灯、案内板 、修景助成、公共施設の修景	竹田市			■	■	■	222	3.0	—	

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		H27	H28				H29	H30	H31						
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
												小計						1,526		
												合計						1,526		

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	臼杵市	直接	臼杵市	—	—	景観形成情報発信時業（1 -C-1）	景観ガイドブック作成	臼杵市		■					4	-	-	
		臼杵城下周辺地区の景観形成に係るガイドブックを作成することで、観光客には街並みの歴史的成り立ちを発信でき、地域住民には、守るべき街並み景観の意義を周知させることのできる。																			
	C16-002	住宅	一般	杵築市	直接	杵築市	—	—	歴史的建造物情報発信事 業（1-C-3）	街なみ活用パンフレット作成	杵築市		■	■					3	-	-
杵築地区の歴史的建造物に係るパンフレットを作成することで、観光客には街並みの歴史的成り立ちを発信でき、地域住民には、守るべき街並み景観の意義を周知させることのできる。																					
C16-003	住宅	一般	竹田市	直接	竹田市	—	—	長湯温泉駐車場整備事業 （1-C-4）	駐車場整備	竹田市					■	■			55		-
		長湯地区に駐車場を整備することにより、観光客の滞留拠点および周辺集客施設への集散拠点として、観光交流人口の増加を図る。																			
											小計								62		
										合計									62		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
居住者の整備等に対する満足度、街なみ整備地区の活用率、地区内の観光交流人口の自然減少の抑制を指標とし、各地区を所管する市から、それぞれの定量的指標の令和元年度末の状況を調査・集計。それぞれの地区の集計結果を加重平均し、最終目標値と比較して評価を行った。		令和元年3月	
		公表の方法	大分県のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業地区のうち多くが、街なみ環境整備事業を長期的に実施している地区である。継続して修景整備や街路灯整備等の公共施設整備を行ってきた結果、統一感のある街なみ景観が形成されてきた。事業を契機として、協議会活動の活発化や新規大型イベントの開催にも繋がっており、観光交流人口の増加に寄与している。また、これまで継続して地区で実施されてきた活動に加え、若手有志による新規イベントが開催されるなど、協議会等に限らず広く地区の活用がなされている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	無電柱化や道路美装化により、街なみ景観の魅力を向上させるとともに、歩行者が歩きやすい街なみとなったことで、地区の回遊性が向上した。また、空き地を活用して公園や休憩スペースを整備することで、観光客・居住者ともに集える場所ができた。

○特記事項（今後の方針等）

これまで事業を継続し、地域固有の景観や歴史的遺産を活かした景観整備がなされた結果として、協議会活動や新規イベント開催に繋がるなど、効果はソフト面にも広がっており、一定の事業成果が見られる。しかし、地域の活性化や住みやすさといった点については、居住者の評価は思うように上がっておらず、地区の街なみを保存していくためにも、事業完了後も行政と居住者が協力し、継続してコミュニティの醸成を図っていく必要がある。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	4ポイント	「街並みの景観」に対する評価は、平均3.6ポイントであったが、「地区の活性化」に対する評価は2.87ポイントと低く、全体として目標達成に至らなかった。
	最終実績値	3ポイント	
2	最終目標値	15%	街なみ環境整備が契機となり、まちづくり協議会等の活動が活発化し、地区内でのイベントが積極的に開催された一方で、少子高齢化の影響により中止となるイベント等もあり、目標を下回った。
	最終実績値	8%	
3	最終目標値	639715人	ラグビーワールドカップ等の大型イベントに合わせた企画や観光広報がなされた結果、観光交流人口の維持へと繋がった。
	最終実績値	726459人	

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)

